



南町小だより

つよく かしこく あたたかく

平成28年 1月 8日

校長 福田 俊彦

夢と希望が輝く

校長 福田 俊彦

あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、穏やかな新年を迎えられたこととお慶びを申し上げます。

昨年は、多くの面で本校の教育活動へのご理解とご支援をいただきました。誠にありがとうございました。本年も皆様のお力添えのもと「みんなの子供をみんなで育てる学校」として教育活動を進めて参ります。引き続き宜しくお願いします。

さて、昨年末、日本の女子サッカー界を牽引し、多くの功績を残すとともに、後輩の目標となり、夢と希望を追いかけた澤穂希さんが現役を引退するというニュースに接しました。私には、平成23年のサッカー女子ワールドカップのことが蘇ってきました。最後まで諦めずボールを追う姿。仲間に関心をかける姿。喜びを分かち合う笑顔。そして、支えてくれた方々への感謝の言葉。ひとつひとつの姿に、言葉に重みを感じた方は多くいたのではないのでしょうか。澤さんの座右の銘「夢は見るものではなく叶えるもの」があります。この言葉に勇気づけられ、努力を重ね、多くの人々に感動を送り届けた澤さんに感謝です。

子供たちとの会話の中で、夢や希望の話をする機会があります。その内容は様々です。直前に迫っていることから、将来に関することまで。できるかどうかは分からないことでも、何となく思っていることでも、子供にとっては大切な夢であり、希望であることを感じます。そのことが土台となり、成長過程における様々な経験を通して、より具体的になっていくことと思います。ここで大事なことは、まずは夢や希望をもつことでしょうか。澤さんが話しているように「夢は叶えるもの」です。

以前のことでありますが、ある子供から聞いた話です。

ぼくは、将来大学を出て小学校の先生になり、自分のクラスをもつことが夢です。そして、校長先生が話す「自分の命は自分で守る」ということと、友達を大切にすることをお伝えしたいです。

また、算数がんばって教えたいです。理由は、算数にはすばらしいことがたくさんあるからです。例えば、算数は答えが一つでも、答えの出し方には何通りもあるからです。あと、スポーツが好きで、スポーツが得意な先生にもなりたいです。

このような先生になるため、小学校、中学校、高校でいろいろなことを学び、大学に進んでさらにたくさんのお話を学びたいと思っています。

この子供は、日々の学校、家庭、地域での生活体験を通して自分の夢をもつことができたのでしょ。この夢をもつまでにいろいろなことを考えたことでは。体験を通して、考えをより具体的にしつつあったのでしょ。

学習に、生活に、スポーツに、友達との関わりに、将来の職業に、子供たちの夢や希望は広がっています。夢や希望をもつことは、生活を充実、向上させるエネルギーになります。友達の夢、希望を知り、励まし合うことは、更なる成長へとつながります。南町小学校の子供たちが、自分を見つめ、夢や希望を秘めている姿に接することは、私たち教職員に勇気を届けてくれます。南町小学校の子供が、夢や希望を抱き、前進していくことを期待しています。保護者、地域の皆様には、夢や希望を抱く子供たちにご支援をいただければ幸いです。